

## ■ 『研究年報』規約

## 神奈川大学大学院経営学研究科『研究年報』規約

2003年12月17日 改 定

- 第一条 名 称 本研究誌の名称は神奈川大学大学院経営学研究科『研究年報』とする。
- 第二条 目 的 本研究誌は多様な題材の研究成果を求め、その発展の場を設けることによって各関係者の議論の喚起、および研究の充実を図り、広く学術の発展に貢献することを目的とする。
- 第三条 発 行 本研究誌は原則として年一回の発行とする。
- 第四条 運 営 本研究誌の運営および企画編集は、『研究年報』編集委員会が顧問と相談のうえ、行なうものとする。
- 第五条 組 織 『研究年報』編集委員会は経営学研究科大学院生による編集委員長、副委員長、書記からなり、編集委員長を代表とする。編集委員長は博士後期課程のものから選出するのが望ましい。なお、編集委員は任期を一年とするが、その再任を妨げない。
- 第六条 顧 問 顧問は原則として、その年度の大学院研究科委員長とする。
- 第七条 投稿規定
1. 投稿資格  
投稿資格者は、原則として神奈川大学大学院経営学研究科に籍をおく大学院生、および研究生とする。籍を離れた者でも、学術研究に携わっている場合は有資格者に準ずる。また、その他の執筆希望者および執筆依頼については『研究年報』編集委員会がこれを審議する。
  2. 原稿の内容  
経営学ならびに関連する領域の研究成果を著したもので、論文・研究ノート・書評・資料紹介などとする。なお他の刊行物に未発表のものであること。また投稿に関する一切の責任は、校正等を含めて執筆者本人が負うものとする。
  3. 指導教員の承認  
論文投稿に際して、原則として指導教員の承認を必要とするが、特別な事情がある場合には、『研究年報』編集委員会がこれを審議する。
  4. 原稿の掲載  
提出された原稿に関する選考は『研究年報』編集委員会がこれを審議する。
  5. 原稿の体裁
    - ①記載事項  
1枚目は表紙とし、ここには以下のすべての情報が含まれているよう注意すること。  
【表紙に含まれるべき情報】
      - (a) 日本語タイトル
      - (b) 英文タイトル
      - (c) 日本語執筆者名
      - (d) 英文執筆者名



- (e) 学籍番号
- (f) 所属
- (g) 連絡先郵便番号と住所
- (h) 連絡先電話番号
- (i) 連絡先ファックス番号
- (j) 電子メールアドレス
- (k) キーワード（5語以内）

なお留学生等帰省予定者は、上記に併せて以下も記載すること。

- (l) 帰省予定日とその期間
- (m) 帰省先住所
- (n) 帰省先電話番号

2枚目以降本文とすること。

## ②用 紙

A4用紙を用い、1枚あたりの字数を1200～1600字程度、横書き、常用漢字、現代仮名づかいとすること。極力手書きは避け、すべてのページに通し番号をふること。字数の制限は、A4用紙で20枚を目安とするが『研究年報』編集委員会の定めるところによるものとする。

## ③注および参考文献

本文中に、注を右肩付け数字などで指示できる。ただし、脚注は原則として不可で、注の内容は本文末に文末脚注として一括してまとめること。引用文献および参考文献を付ける場合の記載方法は、文献間の統一性をとること。

## ④図表の取り扱い

図表は本文とは別ページに作成し、本文中に挿入箇所を明記すること。他から図表を転用する際には、出典を明記し、必要な場合には著作権者の了解を得ること。

## ⑤原稿の提出

原稿は、プリントアウトされたもの一部とフロッピーを提出する。フロッピーのラベルには、(a) 執筆者名、(b) 論文タイトル、(c) 使用機種、をそれぞれ記入する。なお提出先は、『研究年報』編集委員会が定める窓口に締め切り厳守で提出すること。

## 6. その他

その他の細目は、『研究年報』編集委員会がこれを審議する。

以上